

I 第8週の発生動向 (2012/2/20~2012/2/26)

1. インフルエンザについては、八戸保健所及び五所川原保健所管内では第4週から、東地方+青森市保健所、弘前保健所及び上十三保健所管内では第5週から、むつ保健所管内では第7週から**警報**が継続しています。詳細については、**V県内インフルエンザ情報**をご覧ください。

II 第8週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	517	36.9	288	19.2	302	21.6	186	26.6	326	36.2	309	51.5	1,928	29.7	-412	55	27.5	462	38.5
小児科 (74) RSウイルス感染症			3	0.3			1	0.1	1	0.2			7	0.2	-5				
小児科 (75) 咽頭結膜熱	3	0.3	1	0.1									4	0.1	-1			3	0.4
小児科 (76) A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	13	1.4	12	1.3	26	2.9			14	2.3	22	5.5	87	2.1	-9			13	1.6
小児科 (77) 感染性胃腸炎	48	5.3	7	0.8	11	1.2	3	0.6	10	1.7	8	2.0	87	2.1	-1	2	2.0	46	5.8
小児科 (78) 水痘	20	2.2	11	1.2	8	0.9	1	0.2	9	1.5	1	0.3	50	1.2	-7			20	2.5
小児科 (79) 手足口病															0				
小児科 (80) 伝染性紅斑	2	0.2	1	0.1					1	0.2	1	0.3	5	0.1	3			2	0.3
小児科 (81) 突発性発疹	3	0.3	5	0.6	1	0.1			5	0.8	2	0.5	16	0.4	-2			3	0.4
小児科 (82) 百日咳															0				
小児科 (83) ヘルパンギーナ															0				
小児科 (84) 流行性耳下腺炎	2	0.2	2	0.2	18	2.0	1	0.2	6	1.0			29	0.7	-10			2	0.3
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
眼科 (87) 流行性角結膜炎	6	3.0			1	0.5	4	4.0					11	1.0	6			6	3.0
眼科 (92) クラミジア肺炎															0				
基幹 (93) 細菌性髄膜炎							1	1.0					1	0.1	1				
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	2	2.0					6	6.0	10	1.7	-8				
基幹 (96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

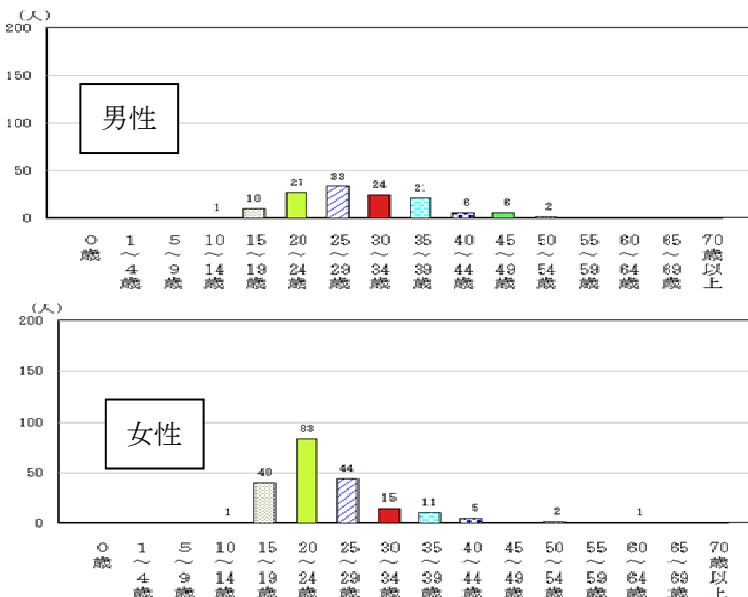
(9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、弘前2人、八戸3人、上十三3人(24年計:60人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者3名 (咽頭ぬぐい液、鼻汁、11/25~12/1)・・・**ライノウイルス**：弘前 (1)、**パレコウイルス**：弘前 (2)
- ・ヘルパンギーナ患者1名 (鼻汁、8/27)・・・**コクサッキーウイルスA10型**：弘前

感染症の窓

性器クラミジア感染症 (月単位五類定点把握疾患)



性器クラミジア感染症は、クラミジア・トラコマチスを病原体とする、国内で最も多い性感染症です。成人では、性行為により感染しますが、新生児は母親から産道感染します。男女ともに性的活動の活発な若年層に多く、特に女性でその傾向があります。

男性の症状は、尿道炎が最も多く、排尿痛、尿道不快感、そう痒感などの自覚症状があります。女性では、感染を受けても自覚症状に乏しいため、診断治療に至らないことが多く、無自覚のうちに男性パートナーや出産児に感染させることがあるので注意が必要です。(IDWR「感染症の話」)

2011年の県内患者報告数は、女性が男性よりも多く、年齢別では20~24歳で最も多くなっています(図)。

図 2011年の年齢別患者報告数

V 県内インフルエンザ情報

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
保健所名												
東地方							1	6	30	38	70	55
弘前	9	22	30	22	24	42	119	351	516	506	415	288
八戸	1	4	8	30	36	57	216	551	761	492	399	302
五所川原		1	5	3	16	22	104	223	233	340	200	186
上十三		1	28	32	30	15	67	214	416	467	484	326
むつ				1	1		5	23	84	101	199	309
青森市		2		2	9	15	97	298	703	771	573	462

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
保健所名												
東地方							1	6	30	23	68	54
弘前	9	21	30	22	24	42	117	345	510	497	408	284
八戸	1	4	8	30	30	53	200	506	697	437	349	271
五所川原				1	14	21	104	216	218	308	188	169
上十三		1	26	31	27	15	64	195	372	433	440	284
むつ				1	1		5	22	68	97	198	298
青森市		2		2	9	15	80	259	586	692	522	424

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
保健所名												
東地方										15	2	1
弘前		1					2	5	6	9	7	4
八戸					1	1	2	7	12	11	15	16
五所川原		1	4	2	2	1		6	15	32	12	17
上十三					1		1	8	20	24	27	33
むつ								1	16	6	1	2
青森市								1	6	4	8	10

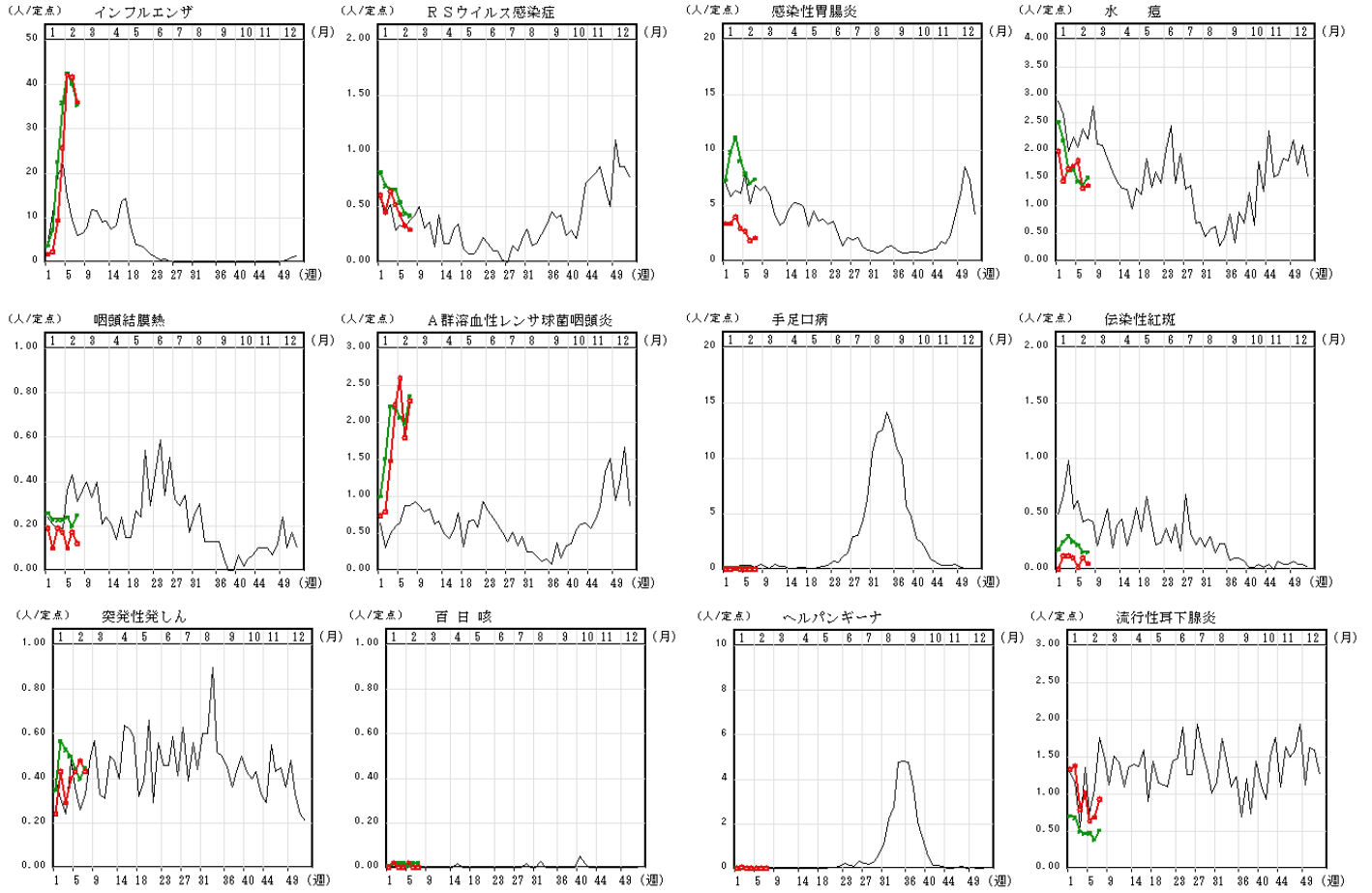
年齢区分別

週	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8
～5ヶ月				1			4	7	8	12	8	11
～11ヶ月				1	3	2	7	12	40	40	28	24
1歳	1		1	1	6	14	25	45	95	131	106	90
2歳			2	3	2	12	39	66	104	140	99	114
3歳			6	2	6	15	36	100	178	192	129	115
4歳		2	4	9	5	9	47	111	232	219	165	143
5歳		3	3	4	3	10	58	126	218	191	158	161
6歳		1	1	3	6	4	52	131	210	152	148	128
7歳	1	3	3	5	2	2	27	94	188	169	130	98
8歳		2	7	8	2	4	28	114	132	133	137	83
9歳	1	3	1	2	2	1	26	82	155	105	133	87
10～14歳	5	5	20	18	8	16	108	428	624	569	480	342
15～19歳		2	6	4	4	2	14	51	86	70	82	77
20～29歳		1	3	5	15	17	28	45	70	87	80	76
30～39歳		5	3	12	13	12	38	104	172	191	165	107
40～49歳	2	2	7	3	21	14	23	64	83	102	110	85
50～59歳			2	3	10	8	19	39	46	86	58	60
60～69歳		1		3	4	5	12	24	53	47	47	51
70～79歳			1		1	3	9	12	21	37	44	36
80歳以上			1	3	3	1	9	11	28	42	33	40

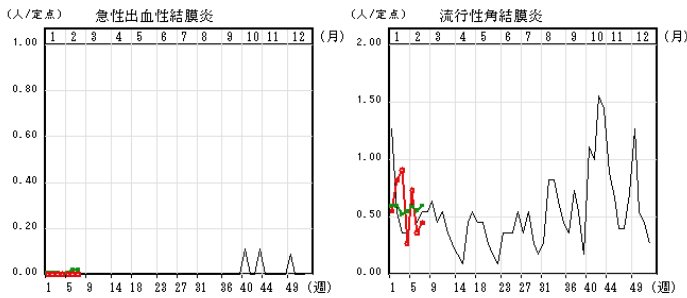
グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、○—○は2012年全国

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2012年 第7週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2012年 第7週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2012年 第7週

